

購読の申し込みは
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)

送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替00160-6-84866

ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

1817号・1818号合併号
2024年1月1日

編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL03(3875)5871
発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日)
(第三種郵便物認可)

人権が守られる
社会の実現を

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

人員不足による厳しい労働環境のなかでも、患者・利用者へのいのちと健康、暮らしを守るため、昼夜を分かたず奮闘されている皆さんに心からの敬意を表します。

これまでの私たちの運動により、コロナ禍で自分の生活をも犠牲にしながら患者・利用者のために奮闘する医療・介護労働者が注目され、政府もケア労働者の賃上げに言及せざるを得ず、看護職員処遇改善評価料や介護職員等ベースアップ等支援加算の新設を実現することができました。しかし、対象が限定的であるため、すべての医療・介護労働者の賃上げにはつながっていません。厳しい働き方は改善されずに賃金も引きあがらず、心身ともに疲れ切った少なくない仲間たちが医療・介護現場から去っています。それによって人員不足に拍車がかかり、病棟縮小・閉鎖を余儀なくされる医療機関やサービスの縮小・事業閉鎖に追い込まれて

いる介護・福祉施設も少なくありません。

地域医療・介護を守るためにも、早急な医療・介護労働者の労働条件の改善と大幅な賃金の引き上げで人員を確保することが求められています。

今、世界の医療労働者たちが、「患者のいのちを守るためには大幅増員と大幅賃上げが必要だ」とストライキに立ち上がりたたかっており、そのたたかいに多くの国民も賛同しています。

私たち日本の医療・介護労働者も、医療・介護を守るために立ち上がる必要があります。全ての医療・介護労働者がやりがいをもって働き続けることができる、そして社会的役割に見合った賃金とするためにも、月額4万円以上、時給250円以上の引き上げをめざし、24春闘大いに奮闘しましょう。

脆弱な医療提供体制により、コロナ禍で助かるはずのいのちも助けられない、まさに医療・介護崩壊に陥つたにもかかわらず、岸田政権は軍事費には多額の予算を積みあげ、大企業への優遇税制や巨額支援を行う一方で、医療・社会保障費は削減し続けています。このような国民を顧みない政治にNOの声を突き付けるのも、「広範な労働者・国民と連帯し、国民医療の改善と社会保障制度の拡充」「平和と民主主義を守る」とを日本医労連の綱領に掲げ、運動をすすめてきた私たちの役割と言えます。

私たちの要求は、私たちの利益を求めるだけのものではなく、医療・介護の充実・強化につながることに確信を持ち、産別に結集し、運動を大きく広げましょう。そして、その実現のためには、ともにたたかう仲間を増やすことが重要です。制度・政策に大きな影響を与え、私たちが誇りを持つて働き続けられる職場をつくるためにも、900万人を超えたすべての医療・介護・福祉労働者を視野に、早期の18万医労連回復を目指し、一緒に奮闘しましょう。

皆さんのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願います。

日本医療労働組合連合会
中央執行委員長

佐々木 悦子

合併号のため、
「脈路」はお休みします。

リアル・オンライン併用開催

2024年 介護要求実現！
全国学習交流集会

2/25(日)14:00～2/26(月)12:00

記念講演：曾我千春氏（金沢星稜大学教授）
会場：神戸市産業振興センター
参加費用：現地参加 宿泊込 15,000円
現地参加 宿泊無 2000円
オンライン参加 無料
参加申込はQRコードかURLから
※詳細は発文書をご確認ください。

<https://x.gd/pWw4n>

予告

2023年度春
看護要求実現
全国交流集会

記念講演：小林 美希氏（フリージャーナリスト）
「取材現場から見た看護師の働き方」(仮題)

2024年2月27日(火)13:30～28日(水)11:30
場所：兵庫県姫路市・姫路キャッスルグランヴィリオホテル
※日曜には、「一泊朝食付シングル宿泊」「夕食交流会」が実施されます。
参加費：全日程 21,000円/宿泊なし 10,000円/会場のみ 5,000円

心身ともに健康で働き続けられる
勤務環境を



24春闘構想の強調点を、森田進書記長が提起しました。この間の情勢は、実質賃金が物価高で18カ月連続低下する一方、大企業優遇、大軍拡、労働法制の破壊など、国民生活を顧みない現政権の在り方

24春闘山場にストライキの構え

東海林さんは、国内外の賃上げ闘争を通して23春闘を振り返り、「要求以上の回答なし」と断言し、経営を見られる力があるかどうか組合に問われると話しました。



東海林智さん

続いて取材や派遣村活動での経験に、いつもそこにある「困窮（貧困）」がコロナ禍で顕在化したただけであり、それらの原因として「新時代の日本の経営」を再び考

を要するべきと訴えました。日本の最低賃金は国際比較しても相当低く、24春闘アンケート結果でも「最賃引き上げ要求」が一位だったと報告。全労連の最賃運動にも結果しつつ、ケア労働者の賃上げが

国民のいのちを守ることに繋がることや、これまでの運動の成果に確信をもち、要求実現のためには統一闘争の強化が必要と強調しました。また今も労働実態はほとんど改善されていないとし、コロナ禍以来集約数が伸び悩んでいる「大幅増員・夜勤改善署名」に改めて旺盛に取り組み、国会に沢山届けようと呼びかけました。

要求と運動に確信をもって臨む

最後に「回答指定日を春闘山場に、物価高でも賃金が上がらない状況への怒りを職

集会初日の記念講演や春闘構想案を受けて、2日間にわたり9つの分散会で討論が行われました。各会に参加者らは、全国の単組支部や県医労連の悩みや

経験などを共有できたことがよかった、という感想をもっていました。ストライキについては、「ス

ライキを決行した単組支部からの経験談に勇気づけられた」と話していました。また「ストライキはうつつことが目的ではなく戦術ということが学べた」と述べ、地域や社会にどう訴えるかという意見交換がされていました。そして春闘構想で情勢を学んだこと

で「4万円以上の要求」に確信が持てたとし、「大幅賃上げ要求」がひいては地域や患

場の中で確認し、ストライキを構えた24春闘にしよう」と提起しました。

者らの為になることにも確信をもって、ストライキなど運動に取り組みたいとし、単組支部内でも議論していきたいと話していました。

まとめ報告を受けて森田書記長は、3月までに学習と意思統一を広げ、強め、深めることが重要とし、要求を自分ごとで捉えるように組合員と議論しストライキの構えを形成してほしいと訴えました。

一人の仲間への攻撃も産別の力で守り抜く

12月5日～6日、日本医労連は、第46回争議組合交流会議を、春闘討論集会の分散会と並行して開催しました。9加盟組織15県の争議の経過や教訓を交流し、会議には、3全国6県医労連12人が参加しました。



争議団を代表してあいさつするサニーライフ豊橋労働組合の頼瀬（こうけつ）多津子さん

会議冒頭、米沢哲組織共闘局長が、日本医労連の「たたかいの産別基本方針」を確認するとともに、会議の目的や交流の意義を共有しました。各争議組合の報告を通じて、救済機関としての労働委員会がその機能を果たしていない現状が共通の問題として出されました。

係争中の組合

【全医労】全医労武蔵支部：労働行為事件 【全労災】：不当労働行為事件 【国共病組】：不当労働行為事件 【北海道】恵和会労働組合：不当労働行為事件 【北海道】恵和会労働組合：不当労働行為事件（報復的不利益取り扱い） 【東京】厚生荘病院労働組合：不当労働行為事件・解雇事件 【神奈川】神奈川県医労連個人加盟組合：不当労働行為事件 【神奈川】湘南中央病院労働組合：賃金未払い事件 【愛知】サニーライフ豊橋労働組合：不当労働行為事件 【愛知】名古屋市立大学教職員組合：不当解雇事件 【愛知】国共病組名城支部：不利益変更事件 【岐阜】シシア高山フロックスユニオン：不当労働行為事件 【大阪】国共病組大手前支部：不当労働行為事件 【山口】済生会山口労働組合：不利益変更事件 【沖縄】育成福祉会労働組合：不当労働行為事件

みのを汲んだ一方的な和解案が、事前の交渉すらなく労働委員会より出された事例が報告されています。討議の中では、全医労や愛知などでも同様の問題が起きているとの指摘もありました。本来労働委員会は救済機関であり、それが単なる仲裁機関に成り下がってしまっているのは大きな問題です。また中労委は、遠方な組織ほど不利になる側面もあり、財力のある使用者側が対面話を

- たたかひの産別基本方針
- 「一人の仲間への攻撃も産別の力で守り抜く」立場で生活面・精神的にも職場と地域で厳しいたたかひを強いられいる仲間たちへの支援と連帯行動を強化する。
 - 闘争を支える財政支援に取り組み。争議支援カンパを全加盟組織で取り組み、争議を産別全体で支える。
 - 使用者からの不当な攻撃を跳ね返すため労働組合の日常活動や組織の拡大強化を行い、たたかひの中で仲間を増やし、争議に勝利し、要求を前進させた経験に学び広げる。
 - 労働組合への不当労働行為は放置せず、断固として反撃し、正常な労働関係を構築する。学習を重視し労働組合の基礎的力量を高める。

12月5日～6日に、24春闘討論集会がふくしま磐梯熱海温泉ホテル華の湯で、「コロナ前の活気を取り戻していこう」とリアル参加に限定して開催されました。集会には6全国組合33県医労連150人が参加し、24春闘にむけて学び、議論を深めました。

24春闘討論集会の開会にあたり、佐々木悦子中央執行委員長はまず初めに、ハマスとイスラエルの紛争について平和的解決とそれに向けた各国の外交努力を求めるとともに、イスラエルの軍事行動に強く非難すると述べました。24春闘については、今春闘の総括や年末一時金回答状況に触れながら、各単組の要求前進のためには、全国や地域の医療・介護職の賃金水準

記念講演は、毎日新聞社会部記者で、元新聞労連委員長・元MIC議長の東海林智さんが「24春闘で大幅な賃上げを勝ち取るために」取材の現場から「労働組合に求められることは」と題して行われました。

労働運動の社会的意義を訴える

超の医療・介護・福祉労働者を視野に、すべての単組支部で未加入者に声をかけ、組合加入につなげようと呼びかけました。

24春闘討論集会

要求と運動に確信産別統一ストライキで臨む

病院給食対策委員会は、11月26日～27日に福岡県福岡市にて「第33回病院給食問題全国交流会」を開催し、4全国組合12都道府県から52人が参加しました。

記念講演

記念講演は、日本医労連前中央執行委員長の森田しのぶ氏が「医療・介護で給食を担うみなさんへ～歴史から学

び、自分らしく生き・働こう」と題して、日本医労連の歴史や産別の意義、たたくの歴史から学ぶことの重要性、組織拡大の重要性などを経験を重ねながら講演しました。そして、私たちの運動で、情勢が確実に変わっていくことを強調しました。講演を受けて参加者らは、自分たちが声を上げることの意義を改めて感じていました。

特別報告

特別報告では、大阪医労連・管理栄養士の染原剛氏が、「ゆつくり・じっくり・ぼちぼちと病院給食、はじめの一步」と題して、病院給食の原点や治療食である病院給食の重要性などについて報告。患者さんが主人公となる食事の提供、プロの医療人として誇りを持つことの大切さを述べ

全体会・分散会

全体会では、各職場での調理方法の違いや人手不足・職員の高齢化からくる問題などを話し合いました。

翌日の分散会では、委託問題や欠員補充されない中での工夫、ハラスメント、病院給食の魅力のアピールなど幅広く交流しました。多くの病院

・施設で人手不足が問題となっており、職員の高齢化や後継者育成の課題などが出されました。またセントラルキッチン・サテライトキッチン方式を導入している病院・施設での取り組みも意見交換しました。そして職員のモチベーションをあげ、魅力ある職種であることをアピールしていくために賃上げが必要であることも語られました。



病院給食の大切さを伝えよう！

第33回病院給食問題全国交流会



ヨコのカギ

- 損して取るもの
- 年賀状などの表面に書きます
- 竜神や乙姫様が住むという宮殿
- 舟をこぐ人
- 七福神が乗っている……船
- 銀世界とは……景色の形容です
- うずまきのように旋回した形状
- イブセン作「人形の……」
- エア・クッションともいう携帯枕
- 江戸時代の画家のことです
- 自転車も着物が努力義務です
- 傘と、今は携帯電話が多い？
- 皇室の新春行事、お題は「和」
- 次の……五輪開催国はイタリア
- ……のずいから天井をのぞく
- 晴れ着の反対語は……着
- 名誉。栄光。国民……賞
- ミスミ（三角）草の別名は……草
- 陰で人の悪口を言われること。ナニをさされる？
- 餅つき道具の一つです

タテのカギ

- 犬も歩けば当たる
- 立……、……至、……眠、暖……
- ヒゲ・セミ・マッコウなどがいます
- 吐く息と吸う息。……の呼吸
- 戸……小道はどここの道
- 頭は竜だが尾はヘビ
- 行ったり来たり
- 自分の作品の謙遜語
- えさをまいて魚を……て捕獲
- 亀の……より年の……
- 世界で一番広い海
- 親に似ること。……の子は……
- 液体や気体の噴射で飛ぶ航空機
- シンデレラの……はガラス製
- トウモロコシはイネ科、落花生は……
- 神や仏を信じて拜む……堂
- 縫い針の糸を通す穴
- 新車……会
- 竜の喉の下にある逆さのうろこ
- 牛や豚の舌の肉
- キリスト教の開祖
- 人の……も七十五日
- 竹筒に水を引き入れて音を出す装置。……おどし
- ナポレオンを撤退させた……將軍
- 俳……、声……、名……です

【バズル解答】1815号の答えは「フユノセイザ」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を1/18(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

【応募先】
〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX：03-3875-6270
E-mail：n-ask@irouren.or.jp



憲法平和 まなば Night!

オンラインセミナー

日本医労連
憲法平和オンラインセミナー

まなばNIGHT

2023.12.21
18:30~19:00

憲法は実現できる！
～様々なたたかいを例に～

岸 朋弘 弁護士

ZOOMID：876 7374 5280
パスコード：578032

▲次回のチラシ

宮古島一住宅近くに弾薬庫

宮古島では、①米軍機に位置情報を提供する衛星基地や移動式のミサイル発射車両が配備され、島内全体が攻撃対象になる危険性があること、②地対艦ミサイルの弾薬庫が、住宅地から200mに建設中だけでも、自衛隊の教範

冒頭、米中の軍事対立の中、日本は安保三文書を改訂、先島諸島で、長距離ミサイル配備が行われている状況を現地で見てきたと話されました。

宮古島一住宅近くに弾薬庫



加部弁護士

住民の意思や安全が蔑ろにされたまま、米軍との一体化のためのミサイル基地が進行している。

先島や沖縄だけの問題ではなく、全国で「わがこと」として向き合ってほしい。

与那国島では、人口1700人の島に、自衛隊員とその家族400人が移住する中、選挙が自衛隊員だけで決まってしまう、顔見知りなので表立って反対できない、などの状況が報告されました。

石垣島では地対艦ミサイル部隊・地対空部隊が配備されましたが、自衛隊に理解があると言われる石垣島の市議会でも「長距離ミサイルの配備に反対する旨の意見書」が可決されました。その理由として同意見書では、住民説明会などで「配備されるミサイルは、他国領土を攻撃するものでなく、迎撃用であくまで専守防衛のためと説明されてきた」ことが述べられています。

石垣島一「専守防衛」の部隊ではなかったのか

石垣島では地対艦ミサイル部隊・地対空部隊が配備されましたが、自衛隊に理解があると言われる石垣島の市議会でも「長距離ミサイルの配備に反対する旨の意見書」が可決されました。その理由として同意見書では、住民説明会などで「配備されるミサイルは、他国領土を攻撃するものでなく、迎撃用であくまで専守防衛のためと説明されてきた」ことが述べられています。

に「火災発生時には2分以内に1km以上の距離に避難」と書かれるほど、危険である実態が報告されました。

新春インタビュー

政府に絡め取られないために

男女間格差を示すジェンダー・ギャップ指数が近年、大きく報じられ、日本の著しい立ち遅れが指摘されるようになりました。日本政府も「女性活躍」をさかんに強調しています。ジェンダー平等の実現をめざして行動する一人として、社会の変化を心強く感じています。

一方で、2023年度から5年間で43兆円もの軍事費増額を進める日本政府に対し、反対の声をあげ続けなければ、ジェンダー平等を求める思いが政府に絡め取られ、利用されてしまうのではないかと、という危機感を抱いています。

なぜ、そう思うかという点、歴史がそう教えているからです。戦前・戦中・戦後にかけて、男女平等、女性の地位向上に生涯をかけた女性活動家、市川房枝は日中全面戦争以降、女子勤労動員の促進や植民地での皇民化教育など、戦争協力の一翼を担いました。

市川は戦前、反戦を主張していました。なぜ主張を変えたのか。そこには「女性参政権実現のため」という強い思いがあったといわれています。

女性参政権を獲得するた

めには政府の力を得ることが必要であり、政府と駆け引きをするために戦争協力の道を選んだのでしょうか。しかし、その思いは当時の政府に利用されました。

どんな性であろうと個人としての権利を尊重・保障するのがジェンダー平等であり、それに対して命と人権を軽んじ

る踏みこむのが戦争です。この二つは対極です。この当たり前の感覚をまひさせられてしまわないように、ジェンダー平等の実現と、「戦争する国」への準備に反対する声を、同時にあげなければならぬと思います。

「新しい戦前」といわれる今、私たちは市川房枝の教訓に学ぶべきです。

家父長的な家族像

岸田政権は、敵基地攻撃能力（反撃能力）など戦争できる国づくりを2024年も強めるでしょう。「憲法改正」も掲げています。

その動きが、自民党の憲法改正草案（2012年策定）が示す方向へと勢いづくことを、私は最も警戒しています。

衆院の憲法審査会では議員の任期延長が必要だと、自民や公明、維新、国民民主

が主張しています。もし仮に、国民の多くが「憲法を変えてもいいかな」と思うようになれば、改憲派はあれもこれもと次々に他の条文の改正を主張し、全面的な改正へと雪崩を打つのではないのでしょうか。それが改憲派の本当の狙いだと考えています。

自民党の改憲草案は、日本の国の元首を天皇とし、「国防軍」の新設を掲げています。13条「すべて国民は、個人として尊重される」の個人を「人」に置き換え、24条では「家族」を基礎的な単位としました。自民党は、一人一人を尊重する姿勢をないがしろにし、ジェンダー格差を生む家父長的な家族像を憲法に

たなか ゆうこ 1952年生まれ。専門は江戸文学・江戸文化。『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。2014年から21年まで法政大学第19代総長。「九条の会」世話人など、憲法9条を守る活動でも積極的に行動・発言を続けている。『落語がつくる〈江戸東京〉』（編、岩波書店）など著書多数。



法政大学前総長 田中 優子さん



医療の眼

コロナ禍を踏まえた医療提供体制の充実を

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから間もなく4年が経過します。岸田政権は、5月から新型コロナウイルスを「5類」に移行しましたが、この

5類移行は、コロナ対策で膨れ上がった財政需要を一刻も早く平時に戻したい財務省と、経済活動を一刻も早く回復させた

い財界などの要求に基づくものであり、医学的な見地から判断されたものではなく、移行前には、政府の専門家組織からも次期尚早との声が上がっていました。

「withコロナ」へ移行するため政府は、「新興感染症発生・まん延時の医療」を医療計画の6事業目に盛り込み、感染症法に基づく都道府県と医療機関との「医療措置協定」により感染症医療体制の確保を医療機関の義務とし、感染症危機管理統括庁を設置して国の司令塔機能の強化をはかり、これらを以って次の新興感染症対策としてきました。

コロナ禍で明らかになった感染症に脆弱な日本の保健医療体制の現状を直視するなら、その体制強化に踏み出すこと

大軍拡路線と社会保障費抑制政策を転換させよう

求められます。しかし、政府・財界は、あくまで高齢者人口の増加に伴い増える医療需要と財政負担の増大を抑制・効率化することに固執し、感染症有事の短期の医療需要には医療計画に基づき機動的に対処し、平時には、医療提供体制の効率的再編を着実に進めるという姿勢を変えていません。

財務省の「マイナス改定」はあり得ない

そして、今、その具体化をはかる第8次医療計画の策定作業と、来年度の診療報酬改定をめぐる議論が進められています。これらの計画や報酬改定がどのようなものとなるのか、今後の地域医療に大きく影響します。

財務大臣の諮問機関「財政制度等審議会」は11月20日、来年度の予算編成に向けた提言をまとめ、焦点となっている診療報酬の改定について、現役世代の負担を軽減するため、医療従事者の人件費などにあたる部分を引き下げるよう求めました。

財務省の「マイナス改定」に対して医療現場からは「引き下げ提言はあり得ない」「心折れる」などの怒りの声が沸騰しています。

策定される計画や報酬改定の動向に注目しよう

来春は、6年に一度の

医療、介護、障害福祉サービスそれぞれの計画と報酬制度の同時改定の年ですが、岸田政権が掲げる優先政策は、軍事費を2倍化する大軍拡と「新しい資本主義実行計画」と「異次元の少子化対策」です。

5類移行によりコロナは終わったものとし、提供体制改革の推進を本格的に再起動して、軍備増強と新自由主義改革を推進するため、社会保障費を抑制する「全世代型社会保障改革」や「医療・介護DX」が進められようとしています。少子化対策の財源確保のため、医療保険制度への「支援金」上乗せや、子育て支援の財源確保を口実にした高齢者向けの給付をターゲットにした医療・社会保障の給付費抑制もねらわれています。そして、2024年度から一斉に開始となる3計画（第8次医療計画、第9期介護保険事業計画、第7期障害福祉計画）・三報酬の改定は、この「改革」の一環に位置付けられ、制度改悪が具体化されようとしています。

策定される計画や報酬改定の動向に注目し、大幅な上げ・大幅増員で、国民のいのち・健康を守る地域医療の整備・確保に向け、地域から大きく声を上げていきましよう。

鎌倉幸孝